

〔空穂物語 藤原の君〕ますをしろきいたゞきのうへにすゑ奉りて、いたゞきにいたゞき奉らんと
いひて、あやどむら、せに廿貫とらす、

〔執政所抄^上正^上月〕上午日宮畔奠事^{○中}

八節竹^{五木} 砥一果 斗一

已上上旬出納進之

〔經濟錄^四律^四曆〕日本ノ量、古代ハ如何ナル制ニテ、斗斛ノ大小幾許ナリシト云事詳ナラズ、近世マデハ曲尺ニテ方五寸、深サ二寸五分ヲ升トセシヲ、當代改メテ方四寸九分、深サ二寸七分トセリ、方ニテ一分ヲ損シ、深サニテ二分ヲ増タルニヨリテ、内實舊量ヨリモ多シ、舊量ハ一升ノ内實六十二寸五ナリシニ、今ノ新量ハ六十四寸八二七ナリ、是新量ハ舊量ヨリ大ナリ、此新量ヲ今升ト稱シテ行フニヨリテ、舊量ヲバ古升ト稱シテ用ヒズ、國家既ニ新量ヲ制セラレテヨリ、都下ニ官局ヲ立テ、大小ノ量器ヲ作ラシム、其制鐵ヲ以テ外ヲ固メ、口ニハ斜ニ鐵弦ヲ施シテ、姦猾ノ者モ輒ク削小スルコトヲ防ギ、底ニ烙印ヲ打シテ制度ヲ明ニス、世俗コレヲツルカケマスト云フ、此法量ヲ天下ニ行ヒテヨリ、民間ニテ私ニ量器ヲ作ルコトヲ禁ズ、是誠ニ律度量衡ヲ同クストイヘルニ合ヘル故ナリ、然レドモ如何ナル故ニヤ、民間ニテ私量ヲ作り用ルコト、今ニ至ルマデ止マズ、^{○中}又甲州ニハ武田氏ノ制トテ、二升五合ヲ一升トスル量アリ、江州ニハ佐々木氏ノ制トテ、八合ヲ一升トスル量アリ、コレヲ武者升ト云フ、武者ハ地ノ名ナリ、江州ノ内ハ今モ此量ヲ用ユ、豫州勢州ニハ、六合ヲ一升トスル量アリ、封建ノ世ハ、諸侯國別ニ制度ヲ立テ、其風俗ニ從テ治ムルハ固ヨリノ事ナレドモ、度量衡ノ三ツハ、天下通用スル法度ノ器ニテ、一統ノ制ヲ守ルベキ義ナル故ニ、唐虞ノ世ノ政ニ、同律度量衡トイヘリ、孔子ノ言ニ、謹權量、審法度、トノタマヘル、スナハテ此義ナリ、